

精神・神経疾患メカニズム解明プロジェクト（疾患メカ）実施課題

令和4年10月現在

研究開発課題名	委託先機関名	研究開発代表者	
		役職	氏名
分野1：精神・神経疾患の分子機序の解明			
神経発達障害の病因・病態の理解に資する脳の性差のマルチモーダルな探求	東北大学	教授	大隅 典子
自閉スペクトラム症の分子機序に関する研究開発	九州大学	主幹教授	中山 敬一
慢性ストレス・老化による脳機能変容の炎症性機序の解明	神戸大学	教授	古屋敷 智之
手術検体を用いた発達障害・てんかんの脳内細胞内情報伝達機構の把握による発症メカニズムの解析	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター	部長	星野 幹雄
相分離破綻に起因する神経変性疾患に関する研究開発	奈良県立医科大学	准教授	森 英一朗
分野2～6：双方向トランスレショナル研究を基軸とする疾患横断的な精神・神経疾患研究			
分野2：【大規模データ探索型】精神疾患領域			
全ゲノム関連解析を基盤とした精神疾患感受性遺伝子の機能解明	藤田医科大学	教授	岩田 伸生
統合失調症と自閉スペクトラム症の多階層情報の統合による病態解明	東海国立大学機構	特任教授	尾崎 紀夫
視床室傍核を起点とした精神疾患の病態解明	順天堂大学	主任教授	加藤 忠史
分野3：【大規模データ探索型】神経変性疾患領域			
孤発性筋萎縮性側索硬化症の双方向トランスレショナル研究による病態介入 標的の同定と核酸医薬の開発研究	愛知医科大学	学長	祖父江 元
分野4：精神疾患領域			
免疫細胞による精神病理の操作を目指して	神戸大学	教授	内匠 透
iPS細胞技術とデータ科学を融合した精神疾患横断的な双方向トランスレショナル研究	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター	部長	橋本 亮太
精神疾患横断的なひきこもり病理における意思決定行動異常とその脳回路・分子ネットワークの解明	大阪大学	教授	疋田 貴俊
分野5：神経変性疾患領域			
孤発性ALS患者メタボローム・エクソソームmiRNA・蛋白質メチル化を起点とする双方向TR	東海国立大学機構	教授	勝野 雅央
シヌクレイバチーを全身病として捉えた病態解明と疾患修飾療法の開発	順天堂大学	准教授	波田野 琢
神経炎症に着目した認知症・神経変性疾患の分子病態解明と治療シース開発	東海国立大学機構	教授	山中 宏二
最初期アルツハイマー病を検出する脳ナビゲーションタスクの開発とその神経回路基盤解明に関する研究開発	藤田医科大学	教授	渡辺 宏久
分野6：睡眠障害、依存症、知的障害等、および境界領域			
多階層解析を基盤とした薬物依存症の解明	藤田医科大学	教授	永井 拓
レム睡眠からアプローチする精神・神経疾患の理解とその克服	東京大学	教授	林 悠
分野7、8：リソース・倫理			
分野7：ヒト臨床リソース・データを用いた研究基盤強化			
日本ブレインバンク（JBBN）による精神・神経疾患死後脳リソース基盤の強化に関する研究開発	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター	部長	高尾 昌樹
分野8：脳科学分野の倫理問題研究			
ヒト脳オルガノイド研究に伴う倫理的・法的・社会的課題の研究	広島大学	准教授	澤井 努
脳科学研究の社会実装および倫理的課題の探索のための 知的ネットワークの構築	東京大学	准教授	瀧本 禎之